

< マニュアル訂正連絡票 >

ASP PDF ファイル生成ツール説明書 V27

[J2K0-5078-01-C2]

2016年10月31日発行

修正箇所(章節項): 第6章 メッセージ

旧記事

S7839 印刷データの登録に失敗した

補足情報: [原因コード,詳細コード[,エラー番号]]

補足情報の詳細を以下に示す.

表 6.10 補足情報詳細(S7839)

原因コード	詳細コード	エラー番号	意味	利用者処置
2300	8003	1823	一度に処理できる帳票サイズをオーバーした.	SIPメニュー「LUインストール」でUXメモリ,UXスワップ領域を拡張する.または,帳票を分割して,再実行する.
	8018			
2400	0005	-	格納先ディレクトリに対して権限がない.	ディレクトリ権限のあるプロフィールで再実行する.
	0011	1824	同名のプールファイルを同じタイミングで帳票登録した. (例.配信連携定義でSPLNAMEを指定し,末尾に'*'を付加している状態で,異なるライターから登録した.)	プールの帳票を保留解除して,再実行する.
	0036		以下に示すいずれかの原因で,帳票登録処理エラーが発生した. (括弧内は,対応するメッセージ番号) ・ディスクボリュームの空き領域が不足した.(S0593) ・ジョブ起動数が,システムの最大ジョブ数を超えた.(S0982) ・ジョブ実行時のRSIZEが不足した.(S0984) ・基本ユーザ域サイズが不足した.(S0992) ・FQAが不足した.(S0997)	対応するメッセージ番号の対処を確認の上,エラー原因を取り除き,再実行する.
	000a			

			<ul style="list-style-type: none"> ・SWA が不足した . (S0998) ・ジョブ実行時の VSIZE および EVSIZE が不足した . (S0999) ・登録可能ライブラリ数が上限に達した . (S1013) 	
--	--	--	---	--

メッセージレベル: B

原因: 印刷データを ListWORKS ファイルシステムへ登録しようとして失敗した .

システムの処理: 帳票を保留する .

利用者の処置: 補足情報をもとに原因を取り除き, スプールの保留を解除し, 再度登録する .

当社技術員 (SE) に調査を依頼する場合は, 原因コード, 詳細コード, エラー番号を併せて連絡する .

新 記 事

S7839 印刷データの登録に失敗した

補足情報: [原因コード, 詳細コード[, エラー番号]]

補足情報の詳細を以下に示す .

表 6.10 補足情報詳細(S7839)

原因コード	詳細コード	エラー番号	意味	利用者処置
2300	8003	1823	一度に処理できる帳票サイズをオーバーした .	SIP メニュー「LU インストール」で UX メモリ, UX スワップ領域を拡張する . または, 帳票を分割して, 再実行する .
	8018			
2400	0005	-	格納先ディレクトリに対して権限がない .	ディレクトリ権限のあるプロフィールで再実行する .
	0011	1824	同名のスプールファイルを同じタイミングで帳票登録した . (例 . 配信連携定義で SPLNAME を指定し, 末尾に '*' を付加している状態で, 異なるライタから登録した .)	スプールの帳票を保留解除して, 再実行する . または, 配信連携定義の SPLNAME-MODE オペランドに「1」を指定する .
	0036		以下に示すいずれかの原因で, 帳票登録処理エラーが発生した . (括弧内は, 対応するメッセージ番号) <ul style="list-style-type: none"> ・ディスクボリュームの空き領域が不足した . (S0593) ・ジョブ起動数が, システムの最大ジョブ数を超えた . (S0982) ・ジョブ実行時の RSIZE が 	対応するメッセージ番号の対処を確認の上, エラー原因を取り除き, 再実行する .
000a				

			不足した。(S0984) ・基本ユーザ域サイズが不足した。(S0992) ・FQAが不足した。(S0997) ・SWAが不足した。(S0998) ・ジョブ実行時のVSIZEおよびEVSIZが不足した。(S0999) ・登録可能ライブラリ数が上限に達した。(S1013)	
--	--	--	---	--

メッセージレベル: B

原因: 印刷データを ListWORKS ファイルシステムへ登録しようとして失敗した。

システムの処理: 帳票を保留する。

利用者の処置: 補足情報をもとに原因を取り除き、スプールの保留を解除し、再度登録する。

当社技術員(SE)に調査を依頼する場合は、原因コード、詳細コード、エラー番号を併せて連絡する。

2016年8月31日発行

修正箇所(章節項): 第2章 環境設定 2.1 UXF 環境情報の設定

旧記事

2.1 UXF 環境情報の設定

CNVSPFP コマンドは UXF 環境で動作する。したがって、CNVSPFP コマンドの動作に必要な量を含めたシステム全体の UXF 資源の使用量を UXF 環境情報に設定する必要がある。

以下に、UX サイズ、UX スワップ域、および TEMP サイズの使用量について示す。

ただし、変換対象とする帳票データの文字数やフォントパターン埋め込み文字の使用、フォームオーバーレイパターンの有無など、内容によって UXF 資源の使用量は著しく変化するため、UXF 資源の使用量を一定の式によって算出することは困難である。

よって、推奨値を示すこととする。

UX サイズ

搭載物理メモリにもよるが、64MB 以上を推奨する。

ただし、大量ページ数の帳票や、JEF 拡張漢字、JEF 拡張非漢字、JIS 第1水準、および JIS 第2水準に含まれる旧字など、イメージとして埋め込まれる文字を多数使用している帳票を変換する場合は、128MB 以上を推奨する。

詳細に見積もる場合は以下の計算式で算出されたい。

$$\text{使用量} = (7800\text{KB} + 1200\text{KB} + n \times (\text{1ページ内の最大文字数} + 1) \times (\text{処理帳票の最大ページ数} + 1) + \text{変換スプールファイルサイズ} + \text{重畳するフォームオーバーレイパターンの総ファイルサイズ}) \times \text{同時動作数}$$

※n は1ページ内の文字がフォントパターン埋め込み文字を使用する割合で決まる。フォントパターン埋め込み文字を100%使用する場合、0.6Kバイトとし、0%の場合0.06Kバイトとする。なお、フォントパターン埋め込み文字数とは、処理帳票に含まれるJEF拡張漢字の数、JEF拡張非漢字の数、利用者定義文字の数、JIS第1水準に含まれる旧字の種類の数、およびJIS第2水準に含まれる旧字の種類の数のこと。
 ※スプールファイルサイズはREFSPLコマンドにて確認できる。

UX スワップ域

通常はシステムインストール時の初期設定値(168MB)で充分である。

ただし、大量ページ数の帳票や、JEF 拡張漢字、JEF 拡張非漢字、JIS 第 1 水準、および JIS 第 2 水準に含まれる旧字など、イメージとして埋め込まれる文字を多数使用している帳票を変換する場合は、常駐ディスクの容量にもよるが 256MB 以上を推奨する。

詳細に見積もる場合は以下の計算式で算出されたい。

$$\text{使用量} = (7800\text{Kバイト} + 1200\text{Kバイト} + n \times (1\text{ページ内の最大文字数} + 1) \times (\text{処理帳票の最大ページ数} + 1) + \text{変換スプールファイルサイズ} + \text{重畳するフォームオーバーレイパターンの総ファイルサイズ}) \times \text{同時動作数}$$

※nは1ページ内の文字がフォントパターン埋め込み文字を使用する割合で決まる。フォントパターン埋め込み文字を100%使用する場合、1.2Kバイトとし、0%の場合、0.12Kバイトとする。

TEMP サイズ

常駐ディスクの容量にもよるが 128MB 以上を推奨する。

詳細に見積もる場合は以下の計算式で算出されたい。

$$\text{使用量} = (n \times (1\text{ページ内の最大文字数} + 1) \times (\text{処理帳票の最大ページ数} + 1) + \text{変換スプールファイルサイズ} + \text{重畳するフォームオーバーレイパターンの総ファイルサイズ}) \times 3 \times \text{同時動作数}$$

※nは1ページ内の文字がフォントパターン埋め込み文字を使用する割合で決まる。フォントパターン埋め込み文字を100%使用する場合、1.2Kバイトとし、0%の場合、0.12Kバイトとする。
なお、TEMP領域は圧縮前のPDFファイルを一時的に格納するために使用する。このため、使用量は帳票の内容によって変化する。上記値は目安である。

上記設定でも不足する場合は、帳票を分割し再度変換を実施するか、または不足した UXF 資源の設定値を拡張することで対応されたい。

システムインストール時の初期設定値でも動作するが、この場合の変換可能ページ数は、帳票データの内容により異なる。なお、システムインストール時の初期設定値は機種によって異なる為注意されたい。

また、UX サイズ、UX スワップ域の実際の使用量は、PMF (有償製品) を利用し測定することが可能である。

UXF 環境の設定については、“[システム説明書](#)”、“[システム運用手引書](#)”、および“[システム導入手引書](#)”を参照されたい。

PMF の詳細については“[PMF 説明書](#)”を参照されたい。

新 記 事

2.1 UXF 環境情報の設定

CNVSPFP コマンドは UXF 環境で動作する。したがって、CNVSPFP コマンドの動作に必要な量を含めたシステム全体の UXF 資源の使用量を UXF 環境情報に設定する必要がある。

以下に、UX サイズ、UX スワップ域、および TEMP サイズの使用量について示す。

ただし、変換対象とする帳票データの文字数やフォントパターン埋め込み文字の使用、フォームオーバーレイパターンの有無など、内容によって UXF 資源の使用量は著しく変化するため、UXF 資源の使用量を一定の式によって算出することは困難である。

よって、推奨値を示すこととする。

UX サイズ

搭載物理メモリにもよるが、64MB 以上を推奨する。

ただし、大量ページ数の帳票や、JEF 拡張漢字、JEF 拡張非漢字、JIS 第 1 水準、および JIS 第 2 水準に含まれる旧字など、イメージとして埋め込まれる文字を多数使用している帳票を変換する場合は、128MB 以上を推奨する。

~~詳細に見積もる場合は以下の計算式で算出されたい。~~

$$\begin{aligned} \text{使用量} = & (7800\text{KB} + 1200\text{KB} + n \times (1\text{ページ内の最大文字数} + 1)) \\ & \times (処理帳票の最大ページ数 + 1) + \text{変換スプールファイルサイズ} \\ & + \text{重畳するフォームオーバーレイパターンの総ファイルサイズ} \\ & \times \text{同時動作数} \end{aligned}$$

~~※n は1ページ内の文字がフォントパターン埋め込み文字を使用する割合で決まる。フォントパターン埋め込み文字を100%使用する場合、0.6Kバイトとし、0%の場合、0.06Kバイトとする。なお、フォントパターン埋め込み文字数とは、処理帳票に含まれるJEF拡張漢字の数、JEF拡張非漢字の数、利用者定義文字の数、JIS第1水準に含まれる旧字の種類の数、およびJIS第2水準に含まれる旧字の種類の数のこと。
※スプールファイルサイズはREFSPLコマンドにて確認できる。~~

UX スワップ域

通常はシステムインストール時の初期設定値(168MB)で充分である。

ただし、大量ページ数の帳票や、JEF 拡張漢字、JEF 拡張非漢字、JIS 第 1 水準、および JIS 第 2 水準に含まれる旧字など、イメージとして埋め込まれる文字を多数使用している帳票を変換する場合は、常駐ディスクの容量にもよるが 256MB 以上を推奨する。

~~詳細に見積もる場合は以下の計算式で算出されたい。~~

$$\begin{aligned} \text{使用量} = & (7800\text{KB} + 1200\text{KB} + n \times (1\text{ページ内の最大文字数} + 1)) \\ & \times (処理帳票の最大ページ数 + 1) + \text{変換スプールファイルサイズ} \\ & + \text{重畳するフォームオーバーレイパターンの総ファイルサイズ} \\ & \times \text{同時動作数} \end{aligned}$$

~~※nは1ページ内の文字がフォントパターン埋め込み文字を使用する割合で決まる。フォントパターン埋め込み文字を100%使用する場合、1.2Kバイトとし、0%の場合、0.12Kバイトとする。~~

TEMP サイズ

常駐ディスクの容量にもよるが 128MB 以上を推奨する。

~~詳細に見積もる場合は以下の計算式で算出されたい。~~

$$\begin{aligned} \text{使用量} = & (n \times (1\text{ページ内の最大文字数} + 1) \times (処理帳票の最大ページ数 + 1)) \\ & + \text{変換スプールファイルサイズ} + \text{重畳するフォームオーバーレイパターンの} \\ & \text{総ファイルサイズ} \times 3 \times \text{同時動作数} \end{aligned}$$

~~※nは1ページ内の文字がフォントパターン埋め込み文字を使用する割合で決まる。フォントパターン埋め込み文字を100%使用する場合、1.2Kバイトとし、0%の場合、0.12Kバイトとする。
なお、TEMP領域は圧縮前のPDFファイルを一時的に格納するために使用する。このため、使用量は帳票の内容によって変化する。上記値は目安である。~~

上記設定でも不足する場合は、帳票を分割し再度変換を実施するか、または不足した UXF 資源の設定値を拡張することで対応されたい。

システムインストール時の初期設定値でも動作するが、この場合の変換可能ページ数は、帳票データの内容により異なる。なお、システムインストール時の初期設定値は機種によって異なる為注意されたい。

また、UX サイズ、UX スワップ域の実際の使用量は、PMF (有償製品) を利用し測定することが可能である。

UXF 環境の設定については、“[システム説明書](#)”、“[システム運用手引書](#)”、および“[システム導入手引書](#)”を参照されたい。

PMF の詳細については“[PMF 説明書](#)”を参照されたい。

2016 年 4 月 28 日発行

修正箇所 (章節項): 第 6 章 メッセージ

旧 記 事

S6623 PDF ファイルへの変換に失敗した

補足情報:

スプールファイル名 | 識別番号, スプールキュー, ジョブ名, プロフィール名,
[詳細コード 1] [, 詳細コード 2] [, 詳細コード 3]
補足情報の詳細を以下に示す。

表 6.1 補足情報詳細(S6623)(続)

詳細 コード 1	詳細 コード 2	詳細 コード 3	意味	利用者の処置
0bb9	062f	-	作業領域の獲得に失敗した。	UX メモリ, UX スワップ域を使用 する他プログラムを終了してか ら再度コマンドを実行する。 または, S3870/S3871/S5387 に 対する処置を行なう。
	0838		PDF 変換処理で実行できない 事象が発生した。	DSPTDIR コマンドで/optx/po1 の ディレクトリ内容を採取し, 当 社技術員 (SE) に連絡する。
	0839			DSPTDIR コマンドで/optx/po2 の ディレクトリ内容を採取し, 当 社技術員 (SE) に連絡する。
	上記以外			UX メモリ, UX スワップ域を使用 する他プログラムを終了してか ら再度コマンドを実行する。 それでも同メッセージが表示さ れる場合には, スプールファイ ルおよび, システムログを採取 し, 当社技術員 (SE) に連絡す る。
xxxx	03ea		作業領域の獲得に失敗した。	UX メモリ, UX スワップ域を使用 する他プログラムを終了してか ら再度コマンドを実行する。 または, S3870/S3871/S5387 に 対する処置を行なう。

新 記 事

S6623 PDF ファイルへの変換に失敗した

補足情報:

スプールファイル名 | 識別番号, スプールキュー, ジョブ名, プロフィール名,

[詳細コード1][, 詳細コード2][, 詳細コード3]

補足情報の詳細を以下に示す.

表 6.1 補足情報詳細(S6623) (続く)

詳細コード1	詳細コード2	詳細コード3	意味	利用者の処置
0bb9	062f	-	作業領域の獲得に失敗した.	UX メモリ, UX スワップ域を使用する他プログラムを終了してから再度コマンドを実行する. または, S3870/S3871/S5387 に対する処置を行なう.
	0838		PDF 変換処理で実行できない事象が発生した.	DSPTDIR コマンドで/optx/po1 のディレクトリ内容を採取し, 当社技術員 (SE) に連絡する.
	0839			DSPTDIR コマンドで/optx/po2 のディレクトリ内容を採取し, 当社技術員 (SE) に連絡する.
	上記以外			UX メモリ, UX スワップ域を使用する他プログラムを終了してから再度コマンドを実行する. それでも同メッセージが表示される場合には, スプールファイルおよび, システムログを採取し, 当社技術員 (SE) に連絡する.
0fc9	000b		バックグラウンドジョブ数が, システム共通変数@MAXBJ の上限値を超えた.	システム共通変数@MAXBJ の値を見積り, 再設定する. @MAXBJ については, 『システムコマンド集』の[本書の使い方]-[G . 共通変数]を参照されたい.
xxxx	03ea		作業領域の獲得に失敗した.	UX メモリ, UX スワップ域を使用する他プログラムを終了してから再度コマンドを実行する. または, S3870/S3871/S5387 に対する処置を行なう.